教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
数学β	数学Ⅰ・Ⅱ・A	2	習熟度別	共通	1

教科書（発行所）	新編数学Ⅰ（数研出版）、新編数学Ⅱ（数研出版）、新編数学A（数研出版）
教科書以外の教材	1 チャート式 数学Ⅰ+A（数研出版）、チャート式 数学Ⅱ+B+C（数研出版） 2 3 TRIAL 数学Ⅰ+A（数研出版）、3 TRIAL 数学Ⅱ+B+C（数研出版）

目 標	数と式、図形の性質、データの分析及びいろいろな式について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。そして、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式 数学Ⅰ 第2章 集合と命題	多項式の加法と減法、乗法、因数分解 実数、根号を含む計算 1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式	中間考查 期末考查
	2 学期	数学A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 数学Ⅰ 第5章 データの分析 数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	三角形の外心・内心・重心、チェバの定理・メネラウスの定理、円に内接する四角形、円と直線、直線と平面、空間図形と多面体 データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、2つの変数の関係 3次式の展開と因数分解、二項定理、分数式とその計算、恒等式、等式・不等式の証明	実力考查 中間考查 期末考查
	3 学期	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	複素数とその計算、解と係数の関係 剰余の定理と因数定理、高次方程式	実力考查 学年末考查
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1. 授業に集中し、意欲的に問題に取り組む。そして、授業中分からなかった問題はその日のうちに解決する。 2. すぐに解答を求めるのではなく、考えることに重点を置く。 3. 日々題・週課題に全力で取り組み、期限内に提出する。 授業では、説明を聞いて解法を覚えるのではなく、クラス全体で学び合い、考え合うことで理解を深めることを目的とします。そのため、間違えることを恐れず積極的に授業に参加することが授業理解の第一歩です。数学において大切なことは、考える力を養うことです。それこそが数学を学ぶ意義であり、「何のために数学を学ぶのか」の一つの解答ではないでしょうか。そのためにも授業や課題等を工夫し、皆さんが「一番好きな教科は数学」と言ってくれるように取り組んでいきます。「もっとこうしてほしい」という要望があればいつでも教えてください。指宿高校での数学を楽しみましょう。			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	数と式、図形の性質、データの分析、式と証明及び複素数と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力、数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	定期考查、学習活動への参加の態度、提出物の内容及び自己評価等を総合的に評価します。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度すなわち普段の学習活動を評価しますので、本質的な力を磨くようにしてください。		